

イタリア語検定協会 イタリア語イベント in 福岡

NPO イタリア語検定協会主催
福岡日伊協会後援

九州でイタリア語を学んでいらっしゃる方、イタリア語検定を受験している方、
検定を目指している方、イタリアに興味をお持ちの方
のためのイベントです。是非お誘い合せの上、ご参加ください。

- 日時： 2014年4月6日（日）10:00～16:30（入場は9:40から）
場所： クローバープラザ
〒816-0804 福岡県春日市原町3丁目1-7 TEL.092-584-1212
www.cloverplaza.or.jp/ 博多駅からJR鹿児島線普通列車4つ目（15分）
- 内容： イタリア人講師との交流、レベル別イタリア語レッスン、
ガリレオ・ガリレイ生誕450周年記念講演、文化体験
- 参加費： 無料
- 申込方法： E-mail : info@iken.gr.jp 又は
☎03-5428-5630（月～金 11:00～15:00）
イタリア語レベルを次の5レベル別でお知らせください。
① 初心者 ② 検定5級程度 ③ 4級程度
④ 3級程度 ⑤ 準2級～2級程度
- 参加講師： Patrizia Civitillo 講師、Faliero Salis 講師、Antonio Mongiu 講師
イタリア語検定協会会長 小林満

「イタリア語会話レッスン」

プロのイタリア語講師による、ダイナミックなレッスンを楽しく体験していただきます。

ガリレオ・ガリレイ生誕450周年記念講演 「イタリアの食文化とイタリア語とガリレオ・ガリレイ」

今年2014年はガリレオ・ガリレイ（1564-1642）が生まれてから450年目の記念すべき年です。

近代天文学や物理学の成立に大きな役割を果たしたガリレオは、イタリア人として、『天文対話』をはじめ多くの著作を素晴らしいイタリア語で書きました。

ただ、彼がワインや食に関して論じていることは日本ではあまり知られていません。今回はワインや食文化とのかかわりから、ガリレオや彼の弟子の科学者たちの残した仕事を見つめなおしてみたいと思います。また、ガリレオたちのイタリア語にも少しだけ、直接、触れてみましょう。

文化体験

「イタリアのカード・ゲーム“ブリスコラ”で楽しもう！」

イタリアでは、日本で普通使っているトランプでも遊びますが、イタリア独特のカードも存在しています。全部で40枚のこのカードは、地方ごとに図柄や大きさが異なり、見ているだけ



でも楽しくなってきます。今回は、このカードを使った代表的なゲーム“ブリスコラ”を紹介します。みんなで実際にやってみて、イタリアの伝統的な遊びの文化を実体験しましょう。

講師プロフィール：



Antonio Mongiu (アントニオ モンジュ)

ローマ出身。技術工学を大学で専攻後、大手グループ企業でマーケティングやコミュニケーションの責任者を歴任。西日本イタリア人協会の設立に関わり、現在は同協会の副会長として活躍するかたわら、福岡日伊協会のイタリア語教室の講師を務める。豊富な経験と博学多識な講座には定評があります。



Faliero Salis (ファリエロ サリス)

トリノ出身。イタリア語イタリア近代文学教師（語学学校、桜美林大学）。1991年初来日(Japan Foundation Scholarship)、1994年トリノ大学近代文学部日本近代文学学科卒業。卒業論文：プロレタリア文学と小林多喜二作品。1998年トリノ大学大学院文学研究科博士課程修了（歴史言語学-文学批評）1998年再来日。1991年から日本文学映画評論翻訳活動。著書多数。フリーランス研究者。



Patrizia Civitillo (パトリツィア・チヴィティッロ)

プーリア州出身。ナポリ東洋大学卒業。NHK ラジオ・テレビイタリア語講座出演。ベリタリア校長。慶応義塾大学でイタリア語を教授。おおらかで明るい人柄で、パーティの周りにはいつもたくさんの方が集まります。



小林 満

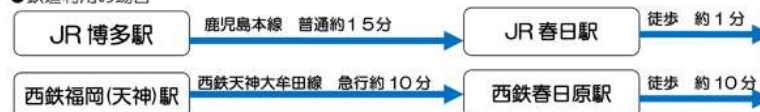
京都大学と同大学院でイタリア語・イタリア文学を専攻。京都産業大学外国語学部教授。専門はガリレオ・ガリレイを中心としたイタリア文学における宇宙像。そのほか、イタリア語の歴史やイタリアの方言学に関する造詣も深い。2010年からイタリア語検定協会会長を務めている。

* 講師の都合により、参加講師は変更になる場合があります。

会場アクセス



● 鉄道利用の場合



● 西鉄バス利用の場合



● 自動車利用の場合



- ※ JR 春日駅には、普通電車のみ停車します。
- ※ 西鉄春日原駅には、普通・急行が停車します。

クローバープラザ

自動車でご来館の皆さまへ：

クローバープラザには、障害をお持ちの方や高齢者の方で、自動車での移動を必要とされる方が多く来館します。しかしながら、駐車台数には限りがあり、満車時には入庫できない場合もございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。